

# 第7回八王子市景観計画策定等検討会議

- 会議録 -

平成21年8月24日

クリエイトホール10階 第二学習室

八王子市景観計画策定等検討会議事務局

会議名	第7回八王子市景観計画策定等検討会議												
開催日時	平成21年8月24日(月曜日)午後6時30分~午後8時55分												
開催場所	八王子市役所 クリエイトホール10階 第二学習室												
出席委員	<table border="0"> <tr> <td>角館 政英 委員</td> <td>亀山 章 委員</td> </tr> <tr> <td>倉田 直道 委員</td> <td>高見澤 邦郎 委員</td> </tr> <tr> <td>田口 敦子 委員</td> <td>吉田 慎悟 委員</td> </tr> <tr> <td>町田 典子 委員</td> <td>加賀谷 盾夫 委員</td> </tr> <tr> <td>小池 正男 委員</td> <td>花形 久美 委員</td> </tr> <tr> <td>飯泉 洋 委員</td> <td></td> </tr> </table>	角館 政英 委員	亀山 章 委員	倉田 直道 委員	高見澤 邦郎 委員	田口 敦子 委員	吉田 慎悟 委員	町田 典子 委員	加賀谷 盾夫 委員	小池 正男 委員	花形 久美 委員	飯泉 洋 委員	
角館 政英 委員	亀山 章 委員												
倉田 直道 委員	高見澤 邦郎 委員												
田口 敦子 委員	吉田 慎悟 委員												
町田 典子 委員	加賀谷 盾夫 委員												
小池 正男 委員	花形 久美 委員												
飯泉 洋 委員													
欠席委員	<table border="0"> <tr> <td>今泉 満政 委員</td> <td>大津 和文 委員</td> </tr> </table>	今泉 満政 委員	大津 和文 委員										
今泉 満政 委員	大津 和文 委員												
市出席職員	まちづくり計画部長 西田 和夫												
事務局	<table border="0"> <tr> <td>都市計画室主幹 西山 忠</td> <td>都市計画室主査 久田 伸之</td> </tr> <tr> <td>都市計画室主任 草間 亜樹</td> <td>都市計画室主事 福土 大介</td> </tr> </table>	都市計画室主幹 西山 忠	都市計画室主査 久田 伸之	都市計画室主任 草間 亜樹	都市計画室主事 福土 大介								
都市計画室主幹 西山 忠	都市計画室主査 久田 伸之												
都市計画室主任 草間 亜樹	都市計画室主事 福土 大介												

議 題	<p>1 開会 司会：事務局</p> <p>2 新任委員の紹介</p> <p>3 議事 司会：倉田会長 ・配布資料の確認（説明：事務局）</p> <p>( 1 ) 会議録の公開について</p> <p>( 2 ) 八王子市景観計画の構成等について ア．八王子市の景観特性と課題 イ．今後の景観形成や施策の検討の方向性 ウ．八王子市景観計画の構成イメージ</p> <p>4 閉会</p>
公開・非公開の別	公開
傍 聴 人	0人
配付資料	<p>〔事前配付資料〕</p> <p>第7回八王子市景観計画策定等検討会議 討議資料</p> <p>第7回八王子市景観計画策定等検討会議 参考資料</p> <p>〔机上配付資料〕</p> <p>次第</p> <p>八王子市景観計画策定等検討会議委員名簿</p> <p>第5回八王子市景観計画策定等検討会議 会議録</p> <p>第7回八王子市景観計画策定等検討会議 参考資料（差換え分）</p> <p>第7回検討会議 討議のポイント</p>

〔午後6時30分開会〕

【議事（１） 会議録の公開について】

- ・ 第5回検討会議会議録について内容を確認。
- ・ 八王子市ホームページ、事務局窓口等にて公開する。

【議事（２） 八王子市景観計画の構成等について】

- ・ 討議資料に基づき事務局から八王子市の景観特性と課題について説明。

<委員>

- ・ 東南部地域の市民懇談会に参加した際に、参加者に専門的に活動を行っている団体に所属している方が何人かいて、専門的な意見を聞いて勉強になった。
- ・ 全般的に参加者が少なく、特に今回開催した時間帯であると、会社帰りの方やご高齢の男性の方などが多く、女性の方が少ない為に、意見が片寄った物となっていないかが心配である。
- ・ 景観を整えていくことは、市民の日々の活力を上げるような影響を及ぼすことができるうえで、とても大切なことではないか。

<委員>

- ・ 景観が大事である事をこの会議で改めて把握することは重要で、庁内における説明をしていく上でも整理し直すことは必要なのではないか。
- ・ 景観を綺麗にすること以外に、八王子を観光地としてさらに活かす方法が模索できないかと感じる。

<委員>

- ・ 今回の報告を聞いていると、八王子市の特色を感じる事ができない。八王子市はいろいろな特色があるのに、その特色が浮かび上がってきておらず、この調査方法で進めていって良いのか気になる。
- ・ 今回の報告では、八王子市の全体像を整理する方法として、住宅や商業、工業などいくつかのカテゴリーで整理しているが、このカテゴリーが整理されていない印象を受ける。八王子市は自然という視点が特徴的な部分で、この視点を手がかりに進めていけるのではないか。
- ・ 市民懇談会で緑を大事にしたいという意見が多く見受けられたが、これらは公共の空間に対して緑を増やしたいという意見で、私有地において緑を増やしたいという意見ではない為に、まちづくりとしての景観につながっていない恐れがある。

<委員>

- ・ 昨年度までの議論の中で自然が大事という事は言われてきたが、今回の資料ではその部分が控えめに述べられていて印象が薄くなってしまっている。浅川や高尾山などの固有名詞をも

っと強調して資料を作成し、今後説明していく上でも初めて見た方にとっても分かりやすい物とするべきではないか。

<委員>

- ・ 今回の討議資料は八王子市の外面だけを見て景観を捉えているので、八王子市の魅力が浮き出てきていないように感じられる。
- ・ 八王子市は各地域それぞれに歴史があり、地域ごとに都市の形成の仕方が異なっていて、今日に至るまでのまちの成り立ちをきちんと受けた上で、景観を捉える必要があるのではないか。

<事務局（久田主査）>

- ・ 分析結果についてはまだ事務局側で深く検討できていない部分があり、また、景観形成の方針の据え方についても計画全体を見渡した中で固めていきたいとも考えている。
- ・ 今後進めていく上では、景観を考える意義を踏まえた上で方針を定めたいと考えている。また、景観を表面的な部分だけで捉えるのではなく、本質的な部分を考慮し、その表出したものとして景観を捉えていくことが重要であると考えている。

<委員>

- ・ 景観を考えていく上では、景観が変化していく場所と、変化させずに守っていきたい場所が出てくるので、景観を時間軸で捉えた方が良い部分もあるのではないか。
- ・ 景観はいろいろな価値観が交錯する領域で、そのいろいろな価値観を如何にまとめ上げたいけるかが行政の役割として重要ではないか。

<会長>

- ・ これまでの意見を伺っていると、景観の特性や課題を如何に今後の方向性につなげていくかという部分が論点となっているようなので、事務局側で用意されている資料の説明をしてから議論していきたい。
- ・ 討議資料に基づき事務局より今後の景観形成や施策の検討の方向性について説明。

<委員>

- ・ 先日の景観ウォッチングを通して、改めて八王子が良い場所であると再認識できた。しかし、八王子駅北口周辺については、何らかの手だてをしないといけないのではないかと日々感じている。
- ・ 長池公園はコンセプトが決められて人工的に造られたと感じる場所で、そうした人工的に造られても良い場所になる可能性はあると感じた。

- ・ 今回、市民懇談会をしたことは、しなかったよりも一歩前進をしたのではないか感じる。

< 委員 >

- ・ 資料の中で「軸の快適性」というフレーズが幾つか見受けられるが、これまで軸を中心に据えて整備する手法で上手く機能している事例は少ない印象を受けていて、軸として整備する手法はそれに見合った効果が見込めないのではないか。

< 委員 >

- ・ 取り組みの柱という部分は、景観づくりの方向性を受けて、八王子らしさが表出してくる部分であると思うが、文言が一般化されてしまっているので、八王子らしさを表す、具体的な固有名詞をもっと前に出した方が良いのではないか。
- ・ 八王子市は都心への通勤者が都市部では最大のまちであり、都市のベッドタウンとして重要な位置づけとなっていて、住宅地の景観要素という視点も取り組みの柱に加えた方が特徴的なものとなっていくのではないか。

< 委員 >

- ・ 八王子市が取り組んでいく項目の中の優先順位を決める事で、もっと特色を出していく事はできないか。
- ・ 八王子市における特徴となるキーワードとして眺望と里山というのがあると感じている。眺望というのは、主観に影響されずに客観的に見える部分であり、また、東京都の中で里山が身近に感じることができるのは八王子市の特徴的な部分ではないかと感じる。

< 委員 >

- ・ これまで議論されている内容は各取り組みの根拠となる部分について言及しているので、各取り組みの前段部分に取り組みの根拠となる説明文をつけ加えると、八王子市の特色が見えやすくなって良いのではないか。
- ・ 今回整理されている調査内容に八王子の特色がないという意見が先ほど出されていたが、町田市や相模原市など近隣市町村の景観計画策定の課程でも八王子市と同じ様な景観が広がっている為に、今回と同じ様な議論や課題が出されている。この状況は避けがたい事実でもあり、取り組み内容の前段に文言を添えることで、八王子市の特色を表してみてもどうか。
- ・ また、先ほど軸という話が出されたが、景観は人間の視覚を扱った分野であり、人間の視覚は連続的な動線として感じるものなので、軸という視点は残しても良いのではないか。

<会長>

- ・ 先ほどの軸というのは都市の骨格としての軸であり、今言われた軸は線としての軸という意味で、同じ軸という言葉を使っても意味は違うように感じる。軸という言葉の受ける印象の違いが少し出てきているのではないか。

<委員>

- ・ 今後、景観計画の方針や取り組みの柱を決めていく上では、市民懇談会で出されているキーワードとなるような具体的な場所を想定しながら、八王子市として大切なものは何なのかを考えていく必要があるのではないか。

<委員>

- ・ 景観を考える際に、景観上の配慮をすることで、不動産価値などの客観的な価値が上がるということは示されていないのか。

<事務局（久田主査）>

- ・ 前回の会議でも同様の意見が出されていたが、具体的に示していくのは難しい内容である。

<会長>

- ・ 景観上配慮した事が直接的に不動産価値などに影響していることを示すのは難しいと思うが、環境が良くなることで住みやすくなるなど、場所の価値は上がっていくと考えられる。

<事務局（西山主幹）>

- ・ 建物高さを制限していくことを考えると、戸建て住宅の前に高層の建物が建つことで資産価値が落ちることも考えられるし、制限したことにより本来建てられるものが建てられなくなるなど、そのバランスが難しい面がある。

<委員>

- ・ 浅川沿いを考えると、今後マンションがどんどん建つ可能性があり、八王子の景観が一挙に変化する可能性がある。高さ制限などを景観計画に盛り込んでいけると良いのではないか。

<委員>

- ・ これまで策定されている景観計画の色彩計画を見ると、計画が運用されてすぐにその場所の特徴が表現されているわけではない。策定当初は突出した物を制限する色彩計画となっていて、少し運用が進んだ段階で地域ごとの特色を出していく内容の計画ができています。

- ・ 先ほど出た眺望点について考えると、眺望点を設定してそれをどのように保っていくかというのは難しい話で、既に実施されている他市事例を参考にしながら、八王子で議論になっている内容の実効性を見据えて進めていくのも重要ではないか。
- ・ 景観構造自体を細かく議論していく事は重要であるが、その議論した事をどれほど実行することが出来るか分からないで、全体を見据えた上で進めていく必要があるのではないか。

<委員>

- ・ 実現化方策について考えると、一度、景観法で述べられる内容や自治体で策定する景観条例でどの程度の事まで言及することが出来るかなどを把握した上で、(資料の)景観計画の3章の部分を考えて、進めていくことも進め方の一つではないか。
- ・ 景観条例の策定の必要性や景観計画などの策定の順序など、これらもきちんと把握し直すことも重要である。

<会長>

- ・ 先ほどから議論されているが、八王子市の取り組みで何を優先して、何をしたいのかをきちんと整理する必要性はある。
- ・ まち並み調査について、全体を把握する為に土地利用という視点で行ったものだが、地区や要素レベルの狭い範囲に落とし込まれていて、それが今回の議論では上手くかみ合っていない部分があった。
- ・ まち並みの歴史などの背景的な部分も今回の調査は感じ取ることはできなかった。
- ・ 山並みや水辺などの骨格となる要素を把握することも大事であるが、より生活に密着した水辺空間の整理についてはきちんとされていない部分がある。
- ・ また、まちの成り立ちと言ったときに歴史を感じるまち並みが残されているという話だけではいけないので、特性のまとめ方を工夫する必要があるのではないか。

<委員>

- ・ 景観計画の策定、景観行政団体移行の目標としている時期はどのくらいを考えているのか。

<事務局(久田主査)>

- ・ 平成23年度には本格的に条例・計画を運用していきたいと考えている。

<会長>

- ・ 色彩調査を実施したと思うが、そちらの結果はどうなっているのか。



<事務局（久田主査）>

- ・ 色彩調査の集計はしているが、まだ分析を発表できる段階には至っておらず、次回の検討会議の時には示していきたいと考えている。

<会長>

- ・ 今回、討議のポイントとして論点を頂いていたが、施策の方向性についてはきちんと議論できなかつたように感じる。
- ・ 討議資料の取り組みの柱は大きく捉えているのに対して、基本的な方向性は少し詳細な視点で捉えていて、全体の関連性が分かりにくい。
- ・ 取り組みの柱に具体性がないという意見が聞かれたが、今日の資料と個別の要素を取り組みの柱とリンクして整理していくと良いのではないかと。

<委員>

- ・ 今後議論していく上で、主観的な部分と客観的な部分を分けて議論していくことはしなくて良いのか。
- ・ 例えば、「潤いのある景観をつくる」というと主観が入り込んでしまっているが、「眺望を大切に作る」というと客観的に見える部分を守ると認識することができる。

<会長>

- ・ ここでは優れた眺望という表現がなされていて、優れたと言うと評価が入り込んでいるので、主観が入り込んできていると言える。
- ・ いずれにしても、ある程度の主観が入ってきてしまうのは許容しなくてはならないのではないかと。

<委員>

- ・ 「潤いのある」「豊かな」「親しみのある」などの形容詞は、その言葉に疑問を持たれてしまう可能性があるため、可能な限り使用しない方が良いのではないかと。

<会長>

- ・ 景観の特性・課題のところでは、土地利用で把握していくことは必要であると思うが、別のまとめ方として、八王子の特徴が浮かび上がっていくような整理の仕方も必要だと感じる。

**【その他】**

- ・ 第1回専門家会議の実施については事務局の方から後日連絡する。
- ・ 次回の検討会議は11月の中旬から下旬を予定している。

〔午後8時55分閉会〕